

科目名	作業療法管理学Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	井本 理美		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	病院・デイケアにて作業療法士として勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年						
授業概要	作業療法業務の管理運営とそのための基本的知識を学習する。また、作業療法士が後進を育てる為に重要な臨床実習の管理運営・指導法について学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				作業療法士の職業倫理と職能団体としての意義と役割を説明できる。	
	○	○				作業療法部門の業務管理とチームマネジメントを説明できる。	
	○	○				作業療法における安全管理を、医療事故などの事例を通して説明できる。	
	○	○				インシデント・アクシデント報告書の内容と書き方を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:大庭潤平・編著,作業療法管理学入門,医歯薬出版株式会社,2018. 参考文献:金谷さとみ・高橋仁美・編:リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック,メジカルビュー社,2018						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	コースガイダンス・作業療法の法律と定義				事前学習	
	2	作業療法士の職能団体としての意義と役割				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	3	作業療法士の職業倫理と研究倫理				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	4	作業療法業務のマネジメント				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	5	作業療法部門の人材育成について				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	6	セルフマネジメント(ストレスマネジメント)とは				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	7	チームマネジメントとは				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	8	作業療法部門業務マネジメント演習①				確認テスト(前事前学習)	
	9	作業療法部門業務マネジメント演習②				前回資料持参	
	10	医療におけるリスクマネジメントと医療事故				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	11	作業療法で起こり得る医療事故				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	12	作業療法におけるリスクマネジメント(事例演習)				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	13	インシデント・アクシデント報告書とは				確認テスト(前回授業の復習) 事前学習	
	14	インシデント・アクシデント報告書演習				確認テスト(前回授業の復習)	
15	まとめ				全授業配布資料持参		
評価方法	(1)授業の中で小テストを複数回実施する。(2)レポートを2回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				70%
	小テスト	○	○				20%
	レポート	○	○				10%
履修上の注意							

科目名	発達障害作業療法学Ⅱ									
科目名(英)	Occupational Therapy for Developmental DisordersⅡ									
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	竹中 祐二					
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	病院・児童福祉施設で作業療法士として勤務					
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年									
授業概要	1. 人間発達学で学んだ知識と発達障害作業療法学で学んだこと、そして実際の介護体験実習で学んだことを整理する。 2. 発達障害分野の各疾患について学ぶ。 3. 発達障害分野の各疾患に対する作業療法の知識を学ぶ。 4. 対象児者や家族の成長やライフサイクルの変化に対応した関わりについて学ぶ。 5. 介護体験実習Ⅱで、こどもたちの特徴を考え、こどもたちが楽しめる遊びや活動を提供する。									
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	△	実技:	△	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				人間発達学で学んだ発達過程、発達領域に関する知識を作業療法評価に活用できる。				
	○	○				代表的障害(知的障害、筋ジストロフィー、ダウン症、二分脊椎等)について臨床家を説明することができる。				
	○	○				上記障害の治療、指導、援助内容を考えることができる。				
	○	○		○		特別支援学級での介護体験実習に参加し、「児童・生徒と安全に配慮しながら、遊びや活動等を提供」することができる。				
テキスト・教材 参考図書	教科書:作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 発達障害作業療法学 改訂第2版、メディカルビュー、2015 参考文献:岩崎 清隆・他、発達障害と作業療法[実践編]、三輪書店、2001 作業療法学全書 改訂第3版 第6巻「作業治療学3発達障害」、協同医学出版社、2010									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	介護体験実習				介護体験実習の記録報告書の作成				
	2	介護体験実習				介護体験実習の記録報告書の作成				
	3	介護体験実習の振り返り(グループワーク)				介護体験実習の記録用紙を作成しておくこと。				
	4	介護体験実習の振り返り(まとめ)				グループワークで生じた課題についてリサーチしておくこと。				
	5	知的障害に対する作業療法(知的障害とは・評価)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	6	知的障害に対する作業療法(アプローチの実際)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	7	摂食嚥下障害に対する作業療法(嚥下障害とは・評価)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	8	摂食嚥下障害に対する作業療法(アプローチの実際)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	9	筋ジストロフィーに対する作業療法(筋ジストロフィーとは・評価)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	10	筋ジストロフィーに対する作業療法(アプローチの実際)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	11	ダウン症に対する作業療法(ダウン症とは・評価)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	12	ダウン症に対する作業療法(アプローチの実際)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	13	二分脊椎に対する作業療法(二分脊椎とは・評価・アプローチの実際)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	14	分娩麻痺に対する作業療法(分娩麻痺とは・評価・アプローチの実際)				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
	15	まとめ				復習をしておくこと、必要時にClassiで問題等も配信します				
評価方法	(1)レポートを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験(筆記)	◎	◎				70%			
	レポート	◎	◎		○		30%			
履修上の注意	特別支援学級での2回の介護体験実習を12月ごろに実施する。日程は調整の上、告知する。 その他、必要なものについては事業の中で提示をします。									

科目名	精神障害作業療法学Ⅱ							
科目名(英)	OT for Psychological Disorder Ⅱ							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	中山 仁			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	作業療法士として病院勤務			
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年							
授業概要	①精神障害作業療法の評価と計画を理解する ②精神障害作業療法の基本的な実践を説明できる ③疾患の障害特性と作業療法の実際を理解する							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				精神障害作業療法の評価と計画を理解する		
	○	○				精神障害作業療法の基本的な実践を説明できる		
	○	○				疾患の障害特性と作業療法の実際を理解する		
	○	○				事例演習を通して作業療法計画の立案を理解する		
テキスト・教材 参考図書	教科書:①香山 明美 他編:精神障害作業療法-生活を支援する-医歯薬出版 ②オリジナル資料 参考文献:1)富岡 詔子他編集 日本作業療法協会監修:作業治療学2 精神障害(作業療法学全書).協同医書出版社 2)石井 良和他編:精神障害領域の作業療法. 中央法規							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	オリエンテーション 精神疾患の概要 統合失調症 感情障害				授業内容の補填、精神疾患の予習を行う。		
	2	精神疾患の概要 神経症関連 精神作用物質及びアルコールによる障害				授業内容の補填、精神疾患の予習を行う。		
	3	精神疾患の概要 摂食障害 てんかん				授業内容の補填、精神疾患の予習を行う。		
	4	精神疾患の概要 パーソナリティ障害				授業内容の補填、精神疾患の予習を行う。		
	5	精神疾患の概要 認知症				授業内容の補填、精神疾患の予習を行う。		
	6	急性期作業療法の考え方と実際				授業内容の復習、小テストの準備をすすめる		
	7	急性期作業療法の考え方と実際				授業内容の復習、小テストの準備をすすめる		
	8	急性期作業療法の考え方と実際				授業内容の復習、小テスト 事例検討の結果 グループ学習など		
	9	作業療法士が遭遇することが多い疾患の知識と対応の基本 気分障害				授業内容の復習、小テスト 事例検討の結果 グループ学習など		
	10	作業療法士が遭遇することが多い疾患の知識と対応の基本 神経症				授業内容の復習、小テスト 事例検討の結果 グループ学習など		
	11	作業療法士が遭遇することが多い疾患の知識と対応の基本 摂食 薬物				授業内容の復習、小テスト 事例検討の結果 グループ学習など		
	12	作業療法士が遭遇することが多い疾患の知識と対応の基本 パーソナリティ				授業内容の復習、小テスト 事例検討の結果 グループ学習など		
	13	作業療法士が遭遇することが多い疾患の知識と対応の基本 広範性				授業内容の復習、小テスト 事例検討の結果 グループ学習など		
	14	作業療法士が遭遇することが多い疾患の知識と対応の基本 認知症				授業内容の復習、小テスト 事例検討の結果 グループ学習など		
	15	まとめ 国家試験問題				総合的理解の復習、解釈を行う。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験(筆記)	◎	◎				80%	
	小テスト	◎	◎				20%	
履修上の注意	※その他の参考文献は、授業内資料でその都度提示していく。							

科目名	老年期障害作業療法学						
科目名(英)	OT for Aging Adults						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	早川 由加里		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	老人保健施設にて 作業療法士として勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年生						
授業概要	日本の急速な高齢化に対応する為、この科目では高齢者の特徴や使用出来る制度、評価やリハビリテーションについて学ぶ。高齢者とそれを取り巻く環境・これから必要となることについて知る。						
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:		
					実技:		
						※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日本の高齢化の歩みと社会制度について学び、それを記述することが出来る。	
	○	○				高齢者の“古い”・“変化”についての特徴を10個以上列挙出来る。	
	○	○				老年期リハビリテーション・評価について説明が出来、評価実習など臨床現場で役立てることが出来る。	
	○	○	○	○		講義・班活動などを通し、対象者や自分自身のことについて理解を深め、課題を見出すことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	1)小川敬之、竹田徳則 編:認知症の作業療法 ソーシャルインクルージョンをめざして 参考文献:1)松房利徳、新井健五 編:標準作業療法学 専門分野 高齢期作業療法学 第3版 医学書院,2016. 2)宮口英樹 監修:認知症を持つ人へのアプローチ-視点・プロセス・理論- メディカルビュー社,2014. 3)藪脇健司 編:高齢者のその人らしさを捉える作業療法 文光堂,2015.						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション/高齢社会の背景と現代社会				事前に高齢のリハビリテーションにイメージを持つ	
	2	リハビリ、心身機能と評価				対象者となる高齢者について事前学習を行ってくる(1時間)	
	3	認知症の作業療法①:概論				認知症の評価について事前学習を行う(1時間)	
	4	認知症の作業療法②:評価				認知症のリハビリテーションについて事前学習を行う(1時間)	
	5	認知症の作業療法③:リハビリテーション				認知症へのアプローチについて事前学習を行う(1時間)	
	6	認知症の作業療法④:アプローチ				認知症の方とのコミュニケーションの取り方や話題について事前学習を行う(1時間)	
	7	認知症の作業療法⑤:				認知症の機能評価を実践する為、実施や説明の行い方について事前学習を行う(1時間)	
	8	高齢者保健福祉に関する制度・法律①				各テーマのプレゼンテーションを行う為、事前準備を行う(1時間)	
	9	高齢者保健福祉に関する制度・法律②				講義を通して学んだことを整理し、講義に臨めるよう事前学習を行う(1時間)	
	10	高齢者保健福祉に関する制度・法律:発表①				発表準備をしっかりと行う	
	11	高齢者保健福祉に関する制度・法律:発表②				発表準備をしっかりと行う	
	12	事例検討①				事前に事例への目標設定を考える(1時間)	
	13	事例検討②				事前に事例へのプログラムを考える(1時間)	
	14	事例検討③				事例の今後などに付いての展開を考える(1時間)	
15	まとめ				講義で使用した教科書・プリントの見直しを行う(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テスト・レポートを数回実施する。(2)課題発表を1回は実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	宿題・レポート	○	○				5%
	発表・作品	○	○		○		5%
履修上の注意	* 講義の順番や内容は変更及び前後する場合がある。						

科目名	高次脳機能障害作業療法学						
科目名(英)	OT for Higher Brain Dysfunction Assessment						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	安部 剛敏		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年						
授業概要	高次脳機能障害の概要と各障害の障害像について教授する。また、高次脳機能障害が影響する生活障害について考え 作業療法士の役割についても提示する。併せて、作業療法を実践するうえで必要な画像所見や評価方法の基本的な知識と技術、作業療法介入について教授する。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高次脳機能障害の定義および典型症状を理解することができる。	
	○	○				高次脳機能障害を抱える人の生活障害をイメージすることができる。	
	○	○				各高次脳機能検査の実施を理解し、実施することができる。	
	○	○				各高次脳検査検査の結果を解釈し、説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	1) 鈴木孝治: 高次脳機能障害学領域の作業療法. 中央法規 2) 病気がみえる vol.7 脳・神経. MEDIC MEDIA						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	コースガイダンスおよび脳の機能解剖				振り返りシートで復習すること	
	2	脳画像の見方				振り返りシートで復習すること	
	3	高次脳機能障害総論				振り返りシートで復習すること 小テスト①を実施します	
	4	高次脳機能障害における作業療法の展開				振り返りシートで復習すること	
	5	意識障害における作業療法				振り返りシートで復習すること	
	6	注意障害における作業療法				振り返りシートで復習すること 小テスト②を実施します	
	7	記憶障害における作業療法				振り返りシートで復習すること	
	8	情動障害に対する作業療法				振り返りシートで復習すること	
	9	失語症における作業療法				振り返りシートで復習すること 小テスト③を実施します	
	10	失行症における作業療法				振り返りシートで復習すること	
	11	失認症における作業療法				振り返りシートで復習すること	
	12	半側空間無視における作業療法				振り返りシートで復習すること 小テスト④を実施します	
	13	遂行機能障害における作業療法				振り返りシートで復習すること	
	14	事例検討				振り返りシートで復習すること	
15	事例検討				振り返りシートで復習すること		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを4回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				80%
	小テスト	◎	◎				20%
履修上の注意							

科目名	義肢学						
科目名(英)	Prosthetics						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	中島 大輔		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	理学療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 2年						
授業概要	義肢(義手、義足)についての適応、構造、その効果に関する知識のみならず、その作成に関わる制度やその調整方法を含めて、臨床での事例も紹介しながら学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				義肢の目的、機能や構造などの基礎的知識を理解することができる。	
	○	○				義肢の適応、位置づけや役割を理解することができる。	
	○	○				義肢における作業療法士の役割を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	義肢装具のチェックポイント(医学書院)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	総論、制度			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	2	切断 切断・離断の医学的治療について			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	3	切断 上下肢切断の機能的特徴とリハビリテーション			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	4	義肢総論			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	5	義足 義足の構造と部品			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	6	義足 大腿義足			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	7	義足 下腿義足			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	8	義足 その他の義足			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	9	補装具、福祉サービス			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	10	義手 義手の構造と部品			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	11	義手 前腕義手			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	12	義手 上腕義手			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	13	義手 肩義手、筋電義手他			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	14	復習			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
15	定期試験対策						
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				40%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	作業療法総合演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	作業療法学科教員		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	病院に作業療法士として勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年生						
授業概要	各分野の現場で働く作業療法士の話やリハビリテーション経験者の話を聞き、基礎医学や臨床医学、作業療法専門知識を統合し理解することができる。 OSCEのテキストや動画を用いて、作業療法士として必要な基本スキルについて学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				医学的リハビリテーションの職種としての作業療法士の役割を理解する。	
	○	○	○	○		演習を通して作業療法士として必要な態度を身に付けることができる。	
	○	○	○	○		演習や実技を通して、検査・測定の方法を理解し、得られる結果の意味を考えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	1)オリジナル資料 2)PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	身体障害領域の臨床に必要な基本的態度と臨床技能			身体障害領域の病院で行われている作業療法について自分でも調べてみる。		
	2	身体障害領域の臨床に必要な臨床思考過程			身体障害領域の病院で行われている作業療法について自分でも調べてみる。		
	3	精神障害領域の臨床に必要な基本的態度と臨床技能			精神科病院で行われる作業療法について自分でも調べてみる。		
	4	精神障害領域の臨床に必要な臨床思考過程			精神科病院で行われる作業療法について自分でも調べてみる。		
	5	リハビリテーション経験者の体験と作業療法士に求めること			体験者の疾患について調べる。		
	6	リハビリテーション経験者の体験と作業療法士に求めること			体験者の疾患について調べる。		
	7	リハビリテーション経験者の体験と作業療法士に求めること			体験者の疾患について調べる。		
	8	リハビリテーション経験者の体験と作業療法士に求めること			体験者の疾患について調べる。		
	9	疾患別評価項目のまとめ			作業療法評価学で使用するテキストなどを用いて調べる。		
	10	作業療法士の基本スキル「①標準予防策」「②リスク管理」			PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)の該当箇所を繰り返し学習する。		
	11	作業療法士の基本スキル「③コミュニケーション技法」「④療法士面接」			PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)の該当箇所を繰り返し学習する。		
	12	作業療法士の基本スキル「⑤面接所見からの高次脳機能障害の推測」			PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)の該当箇所を繰り返し学習する。		
	13	作業療法士の基本スキル「⑥脈拍と血圧の測定」「⑦呼吸パターンと動脈血酸素飽和度の評価」			PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)の該当箇所を繰り返し学習する。		
	14	作業療法士の基本スキル「⑧関節可動域測定(上肢・手指)」「⑨筋力測定(上肢・手指)」			PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)の該当箇所を繰り返し学習する。		
15	作業療法士の基本スキル「⑩関節可動域測定(下肢)」「⑪筋力測定(下肢)」			PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)の該当箇所を繰り返し学習する。			
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	◎	◎	◎		20%
	宿題・レポート	◎	◎				30%
	発表・作品						
履修上の注意	授業内容の順序は入れ替わることがあります。						

科目名	職業関連活動						
科目名(英)	Occupational Therapy for Vocational Rehabilitation						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	渡辺 みゆき		
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	作業療法士として福祉施設勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	障害の有無に関係なく、働くことの意味について考えながら、現在の日本での障害雇用や就労形態、それを支える法制度や支援について学ぶ。また、職業リハビリテーションにおけるOTの役割と現状を知り、今後の就労支援のありかたについて理解を深める。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				職業の意義の3つの側面について説明することができる。	
	○	○				障害者の就労支援制度について、授業で取りあげたものを列挙することができる。	
	○	○				職業リハビリテーションにおける就労支援機関について主となるものを3つ挙げ、その概要を説明することができる。	
	○	○				職業リハビリテーションに関わる職種の中でのOTの役割特性について説明することができる。	
	○	○		○		障害者就労支援について関心のあるテーマを自ら調べて発表することができる。	
テキスト・教材 参考図書	1. 福岡県社会福祉協議会 編:福岡県障がい者福祉情報ハンドブック2020. 2. 日本作業療法士協会 編:作業療法マニュアル60 知的障害は発達障害のある人への就労支援,2016. 3. 配付資料 4. その他:参考となる文献および情報源は授業で紹介いたします。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション、ディスカッション①職業について考える			(予習課題)事前にシラバスを読んでおく		
	2	ディスカッション②働くことの意味について考える			(予習課題)働くことの意味について、意見を述べられるように考えておく		
	3	職業の定義、意義、分類、職業選択、人の職業的発達			(復習課題)職業の意義、職業選択の際の法的制約、人の職業発達を理解し、覚える		
	4	職業適性および職業適性検査(職業興味検査・厚労省編一般職業適性検査)			(復習課題)それぞれの検査の目的・特徴を確認しておく		
	5	各検査結果のまとめおよび解釈、職業適性のまとめ			(復習課題)職業適性検査でわかることと職業適性の意味について確認しておく		
	6	障害者の定義、範囲、職業の意義、就労にける問題、就労形態			(予習課題)障害者とはどのような人なのか説明できるように考えておく		
	7	障害者雇用の現状、職業リハビリテーションの歴史および定義			(復習課題)法定雇用率および現状、職業リハの定義を確認しておく		
	8	職業リハビリテーションに関する法制度、就労支援機関、各種サービス			(復習課題)主要な法制度、就労支援機関およびそのサービスの概要を確認しておく		
	9	職業リハビリテーションとOT①OTの役割、目的、就労とリハゴール、評価の領域			(復習課題)OTが働く分野およびそれぞれの役割、リハゴールとしての就労について確認しておく		
	10	就労支援の実際(1)福祉的就労施設における就労支援(※)			(予習課題)福祉的就労支援施設の種類・内容を調べておく		
	11	就労支援の実際(2)発達障害分野における就労支援(※)			(予習課題)発達障害の障害特性について調べておく		
	12	就労支援の実際(3)精神障害分野における就労支援(※)			(予習課題)精神障害の障害特性について調べておく		
	13	就労支援の実際(4)身体障害分野における就労支援(※)、職リハとOT②評価			(予習課題)身体障害の原因の一つである脳血管障害の障害特性について調べておく		
	14	課題発表			(予習課題)課題発表と質問に対応できるように準備しておく		
	15	まとめ			配布資料で復習を行う		
評価方法	(1)レポートおよび発表を各1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○					80%
	レポート	○					10%
	発表	○			○		10%
	発表・作品						
履修上の注意	授業は配付資料を基に進めます。その他、学生同士でのディスカッションや映像資料などの活用、専門分野の特別講師による講義(※)を予定しています。個人課題の発表およびレポートの提出をしてもらいますので、計画的に準備を行ってください。						

科目名	作業療法評価学Ⅲ						
科目名(英)	Introduction to OT Assessment Ⅲ						
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	松田 茂		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年						
授業概要	1. リハビリテーション医療の中での作業療法評価の目的と流れを理解する。 2. 評価法の種類と方法を知る。 3. 評価結果の意味するものを学ぶ。 4. 収集した情報より全体像把握・ゴール設定・プログラム立案へと結びつける						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○			各評価を実施できるようになる	
	○	○				評価結果の意味するものを説明できる	
	○	○	○	○		収集した情報より全体像把握・ゴール設定・プログラム立案へと結びつける事が出来る	
テキスト・教材 参考図書	1. 標準作業療法学 作業療法評価学 2. 神経診察クローズアップ 3. ICFの理解と活用 4. 標準作業療法学 臨床実習とケーススタディ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション 面接・観察・記録				行った評価法の復習	
	2	反射検査 脳神経検査				行った評価法の復習	
	3	感覚検査				行った評価法の復習	
	4	筋緊張・協調性検査 上肢機能検査				行った評価法の復習	
	5	動作分析				行った評価法の復習	
	6	摂食嚥下機能検査 呼吸機能検査				行った評価法の復習	
	7	心電図のみかた 意識状態の評価				行った評価法の復習	
	8	骨関節の画像				画像の復習	
	9	ICFの利用				ICFを再学習する	
	10	ICFの利用(実際に振り分けてみる)				グループで行ったものを修正する	
	11	リーズニングと作業療法目標				リーズニング、目標の復習	
	12	ケーススタディ(ケーススタディの行い方)				次週につなげられるように、復習する	
	13	ケーススタディ(脳血管障害の例)				脳血管障害に例をもう一度見直す	
	14	ケーススタディ(CROT)				グループ学習で行った症例のまとめ 発表の準備	
15	発表 後期のまとめ				後期授業の復習		
評価方法	(1)ケーススタディはレポートして提出する (2)定期試験(筆記試験)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				70%
	発表・レポート	◎	◎	◎	◎		30%
履修上の注意	最終日には、グループで発表を行います。						

科目名	身体障害作業療法学Ⅱ						
科目名(英)	OT for Physical Dysfunction Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	老川 良輔		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療学科 昼間部 2年生						
授業概要	この授業は、実際作業療法を行う上で何がクライアントにとって必要なことを考える授業である。その為には基礎医学、臨床医学、作業療法理論、基礎作業学実習、作業療法評価学を統合する必要がある。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身体障害の概念を理解する。	
	○	○				身体障害に対する作業療法の考え・役割・流れを理解する。	
	○	○				作業療法の対象となる代表的な疾患について理解する。	
	○	○				様々な疾患と障害に対する作業療法の具体的方法を理解する。	
テキスト・教材 参考図書	①ゴールドマスターテキスト身体障害作業療法学(MEDICAL VIEW)②身体領域の作業療法 第2版(中央法規)③病気が見える vol.7 脳・神経(メディックメディア) ④オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【疾患別】各論 頭部外傷(臨床像と作業療法)	【疾患別】各論 脊髄損傷①(疫学・分類・障害像)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	2	【疾患別】各論 脊髄損傷②(疫学・分類・障害像)	【疾患別】各論 脊髄損傷③(作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと 頭部外傷の小テストを行うため、準備をすること
	3	【疾患別】各論 脊髄損傷④(作業療法)	【疾患別】各論 脊髄損傷⑤(作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	4	【疾患別】各論 脊髄損傷⑥(作業療法)	【疾患別】各論 神経・筋の異常【1】パーキンソン病①(病態と臨床像)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと 脊髄損傷の小テストを行うため、準備をすること
	5	【疾患別】各論 神経・筋の異常【1】パーキンソン病②(作業療法)	【疾患別】各論 神経・筋の異常【1】パーキンソン病③(作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	6	【疾患別】各論 神経・筋の異常【1】パーキンソン病④(作業療法)	【疾患別】各論 神経・筋の異常【2】筋萎縮性側索硬化症(臨床像と作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと パーキンソン病の小テストを行うため、準備をすること
	7	【疾患別】各論 神経・筋の異常【3】脊髄小脳変性症(臨床像と作業療法)	【疾患別】各論 神経・筋の異常【4】多発性硬化症(臨床像と作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	8	【疾患別】各論 神経・筋の異常【5】ギランバレー症候群(臨床像と作業療法)	【テスト】第1回～第6回の内容に関する中間試験				中間試験:第1回～6回の内容の準備を行うこと
	9	【疾患別】各論 関節リウマチ①(病態と臨床像)	【疾患別】各論 関節リウマチ②(病態と臨床像)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	10	【疾患別】各論 関節リウマチ③(作業療法)	【疾患別】各論 関節リウマチ④(作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと 関節リウマチの小テストを行うため、準備をすること
	11	【疾患別】各論 手の末梢神経損傷①(病態と臨床像)	【疾患別】各論 手の末梢神経損傷②(病態と臨床像)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	12	【疾患別】各論 手の末梢神経損傷③(作業療法)	【疾患別】各論 手の末梢神経損傷④(作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	13	【疾患別】各論 骨折①(総論)	【疾患別】各論 骨折②(総論)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと 末梢神経損傷の小テストを行うため、準備をすること
	14	【疾患別】各論 骨折③(上肢:橈骨遠位端骨折の臨床像と作業療法)	【疾患別】各論 骨折④(下肢:大腿骨頸部骨折の臨床像と作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと
	15	【疾患別】各論 内部障害①(心疾患の臨床像と作業療法)	【疾患別】各論 内部障害②(呼吸器疾患の臨床像と作業療法)				まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと 定期試験:第7回～14回の内容の準備を行うこと
評価方法	(1)授業の中で小テストを複数回実施する。(2)授業の中で中間試験を実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	中間試験・定期試験	◎	◎				80%
	小テスト	◎	◎				20%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	日常生活活動Ⅱ						
科目名(英)	Activities of Daily Living ; PracticeⅡ						
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	野村和代 原田芳美		
実施年度	2021年	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院で勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年						
授業概要	1. 福祉用具の概念を学び、その給付体系を知る。2. 福祉用具に関する作業療法士の役割を理解する。3. 福祉用具の適応とADLを関連付けて理解する。4. 基本動作の指導および援助を実践することができる。5. 客観的臨床能力試験(OSCE)を用いてADLの介入技能を理解することができる						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				福祉用具の概念を学び、その給付体系を理解することができる	
	○	○				福祉用具に関する作業療法士の役割を理解することができる	
	○	○		○		福祉用具の適応とADLを関連付けて理解することができる	
	○	○	○			OSCEを用いてADLの介入技能を理解できる	
○	○				ケーススタディを通して臨床推論ができるようになる		
テキスト・教材 参考図書	1)長崎 重信 監修:作業療法コールトマスターテキスト 福祉用具学、メンカルビュー、2015。2)市川 剛 他:福祉用具支援論、テックエイド協会、2008。3)藤井 浩美:日常生活活動の作業療法 中央法規 参考文献:1)テックエイド協会:住宅改修ハンドブック 自立支援のための住宅改修事例集、テックエイド協会2008。2)テックエイド協会:福祉用具を上手に利用するためのQ&A、テックエイド協会2008。3)木之瀬 隆 編集:作業療法学全書第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備 第2版、協同医学出版社2009。4)中村 恵子:もっどらくらく動作介助マニュアル、医学書院 5)藤井浩美:日常生活活動の作業療法、中央法規 6)才藤栄一:臨床技能とOSCE(機能障害・能力低下への介入編)、金原出版株式会社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	福祉用具概念 福祉用具供給システム 治療に関する機器(各種作業台、筋力増強・筋持久力改善に用いる機器)				制度に関する知識の整理と配布資料の整理と復習	
	2	治療に関する機器(巧緻性改善に用いる機器/発達領域で用いる機器/ ベッド周辺機器と移乗補助用具)				配布資料の整理と復習	
	3	生活に関する機器(排泄関連用具/入浴関連用具) 自助具(自助具導入の流れ)				配布資料の整理と復習	
	4	自助具(レポート)				自助具について疾患別レポート提出/配布資料の整理と復習	
	5	環境制御装置・意思伝達装置・スイッチの工夫				配布資料の整理と復習	
	6	住宅改修(住宅の役割と住宅改修の必要性/ 基本的な改修項目と事例)				配布資料の整理と復習/見学に向けて授業内容の振り返り	
	7	福祉機器展示場見学(レポート)				福祉機器展示場見学レポート提出	
	8	ポジショニングに対する介入技能				教科書6)の今回の範囲の予習と復習	
	9	起き上がりに対する介入技能				教科書6)の今回の範囲の予習と復習	
	10	起立・着座に対する介入技能				教科書6)の今回の範囲の予習と復習	
	11	移乗に対する介入技能				教科書6)の今回の範囲の予習と復習	
	12	歩行に対する介入技能				教科書6)の今回の範囲の予習と復習	
	13	ケーススタディ(脳血管障害)				配布資料の復習	
	14	ケーススタディ(整形外科疾患)				配布資料の復習	
15	まとめ				配布資料の復習		
評価方法	(1)レポートを数回実施する 60%(自助具レポート15%、設計書と自助具作品20%、見学レポート15%、宿題レポート10%)。 (2)定期試験(筆記)を実施する 40%。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	宿題・レポート	◎	◎	○	○		60%
履修上の注意							

科目名	地域作業療法学Ⅱ						
科目名(英)	Community Based Occupational TherapyⅡ						
単位数	2単位	時間数	60	担当者	井本理美(身障・老人) 小野仁(発達障害) 中山仁(精神障害)		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	井本理美(病院や介護施設で作業療法士として勤務) 小野仁(病院・福祉施設で作業療法士として勤務) 中山仁(病院で作業療法士として勤務)		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年						
授業概要	地域作業療法の理念と役割を理解するとともに、身体障害領域および介護保険領域、発達領域、精神領域における地域作業療法の知識基盤および実践的方法論を理解する。また、日本作業療法士協会が開発した生活行為向上マネジメントの基礎的な知識と実際の評価、マネジメントの方法について理解する。各領域での実践例についても直接触れ、その実践を理解する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				地域作業療法の理念と役割を説明することができる。	
	○	○				各領域の地域生活における生活障害の特徴を例を挙げて説明することができる。	
	○	○				学生を相手に生活行為向上マネジメントを模擬的に実施し、介入プランを立案することができる。	
	○	○				模擬症例を通して、地域生活におけるケアプランおよび作業療法プランを立案することができる。	
テキスト・教材 参考図書	1)福岡県社会福祉協議会編:障害者福祉情報ハンドブック2018 2)寺山 久美子編:作業療法学全書別巻 地域作業療法学. 協同医書出版社 3)香山明美他編:精神障害作業療法—急性期から地域実践まで 医歯薬出版 参考文献:1)精神障害の急性期作業療法と退院促進プログラム(日本作業療法士協会)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	身障・老人	地域作業療法の理念と役割			講義資料を通して復習しておくこと	
	2		介護保険制度の概要と給付			講義資料を通して復習しておくこと	
	3		ケアマネジメントについて(アセスメントからケアプラン立案までの流れ)			講義資料を通して復習しておくこと	
	4		生活行為向上マネジメントについて			講義資料を通して復習しておくこと	
	5		地域作業療法の実際(作業療法士の活動内容)			講義資料を通して復習しておくこと	
	6	発達	地域作業療法の理念と役割、知識基盤(社会資源)			講義資料を通して復習しておくこと	
	7		発達障害児(者)の困り感(ライフステージに沿って)			講義資料を通して復習しておくこと	
	8		発達障害児(者)のケアマネジメントと自立支援(意思決定支援)について			講義資料を通して復習しておくこと	
	9		障害児の福祉サービス、家族支援、ケアマネジメント			講義資料を通して復習しておくこと	
	10		医療的ケア児の生活支援、特別支援教育の中の作業療法			講義資料を通して復習しておくこと	
	11	精神	精神保健福祉の現状と課題 精神障害領域における地域作業療法と評価			講義資料を通して復習しておくこと	
	12		日本作業療法士協会退院促進プログラムとアセスメント 精神障害者に対する地域生活移行・定着支援			講義資料を通して復習しておくこと	
	13		地域作業療法のプロセスと評価			講義資料を通して復習しておくこと	
	14		事例演習			講義資料を通して復習しておくこと	
15	地域作業療法の実際(外部講師)			実際の実践に触れての感想を書く			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 定期試験は、各領域30点で合計90点満点で実施し、素点を100点満点換算し処理する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	評価実習						
科目名(英)	Clinical Practice						
単位数	3単位	時間数	145時間	担当者	作業療法学科教員 臨床実習指導者		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 2年						
授業概要	臨床実習指導者の指導の下、作業療法士としての心構えと基礎知識や技術を臨床の場で体験し、学習する。評価実習では、担当症例を通して情報収集・評価および記録報告等の一貫した作業療法を実践するものである。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		社会人・職業人としての態度を修得するとともに作業療法部門の役割と特色を理解する。	
		○	○	○		臨床実習指導者の指導の下、作業療法評価計画から作業療法目標の設定までの過程を行うことができる。	
		○	○	○		臨床実習指導者の指導の下、臨床思考過程を症例経験報告書に整理することができる。	
		○		○		臨床実習で学んだことを他者と共有し、他者の経験から多様な視点、考え方を学ぶことができる。	
テキスト・教材 参考図書	1) 評価実習ガイダンス						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<p>・評価実習事前セミナー: 2022年1月31日～2月5日(土) 実習における感染対策やリスク管理に関する講義を実施する。 評価実習に必要な知識・技術について講義等を実施する。</p> <p>・評価実習: 2022年2月7日～2月26日(土) ※施設の就業規定に応じて3週間実施(5日/週を基本とする)</p> <p>・評価実習事後セミナー: 2022年2月28日～3月5日(土) 各施設で学んだことを共有するグループワークと症例発表を実施する。 評価実習提出課題について担当教員よりフィードバックを受ける。</p>					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	実習成績報告書に基づく臨床実習教育指導者による採点と学校への提出物、実習後セミナーでの症例発表などを総合的に判断して100点満点で判定する。 成績評価基準はA(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習課題の遂行		◎	◎	◎		60%
	提出課題		◎		◎		20%
	発表		◎		◎		20%
履修上の注意							